

神戸骨髓献血の和を広げる会～2016年7月定例会議事録

日時：平成28年7月16日（土） 14:00～15:45

会場：ミント神戸 献血ルーム 16F多目的室

参加：4名

【報告事項】

1：関電神戸支社 6/28（火） 9:30～16:00
参加者：2名 献血：65名 登録：6名

2：ユニットピア篠山 7/10（日） 9:30～13:30
参加者：5名 献血：70名 登録：13名

3：西宮市役所 7/13（水） 10:00～16:00
参加者：4名 献血：3名 登録：76名

4：その他

神戸まつり（5/15）の収入12,410円）

皆様のご協力ありがとうございました。

次ページへ

【協議事項】

- | | | |
|---|-------------------|-------------------|
| 1 : 丹南健康福祉センター | 7 / 19 (火) | 10 : 00 ~ 12 : 00 |
| 参加予定 : 4名 | | |
| 2 : 骨髄バンク推進連絡調整会議 | 7 / 26 (火) | 13 : 30 ~ 15 : 30 |
| 参加予定 : 2名 | | |
| 場所 : 薬剤師会館 | | |
| 3 : イオン明石 | 7 / 31 (日) | 10 : 30 ~ 16 : 00 |
| 参加予定 : 3名 | | |
| 4 : 関電阪神営業所 | 8 / 02 (火) | 10 : 00 ~ 15 : 30 |
| 参加予定 : 1名 | | |
| 5 : 県庁登録会 | 8 / 12 (金)、15 (月) | 10 : 00 ~ 16 : 00 |
| 参加予定 : 12日 2名 | | |
| 15日 3名 | | |
| 6 : ライオン株式会社明石工場 | 8 / 31 (水) | 13 : 30 ~ 15 : 30 |
| 参加予定 : 2名 | | |
| 7 : 南あわじ市役所本館 | 9 / 05 (月) | 10 : 00 ~ 16 : 00 |
| 参加予定 : 1名 | | |
| 8 : 芦屋市役所 | 9 / 15 (木) | 10 : 00 ~ 15 : 30 |
| 参加予定 : 2名 | | |
| 9 : 淡路市役所 | 10 / 07 (金) | 10 : 00 ~ 16 : 00 |
| 参加予定 : 1名 | | |
| 10 : 尼崎市民まつり | 10 / 09 (日) | 10 : 00 ~ 16 : 00 |
| 参加予定 : 2名 | | |
| 11. 氷上保健センター | 10 / 26 (水) | 11 : 30 ~ 16 : 00 |
| 参加予定 : 3名 | | |
| 12. その他 | | |
| ・感謝状贈呈について、神戸須磨ライオンズクラブを推薦 | | |
| ・兵庫がん患者連絡会のニューズレター 執筆依頼 | | |
| ・兵庫県から骨髄バンクの表彰を受け、そのことが職場から評価され、地域貢献活動に対する社内表彰を受ける。 | | |
| ・伊丹准看護専門学校での講話 8 / 19 (金) | | |
| ・大阪のコーディネーター「なかむら」と名乗る女性から、「ドナーとして間もなく提供する予定だが、恐ろしくなったので止めたい。どうしたら良いか？ドナーに後押ししてくれないか？」との電話相談あり。 | | |
| ⇒なかむらというコーディネーターは存在しない。類似事象は協議会でもこの事象は把握していますので、ご連絡を受けた方は協議会まで。 | | |
| ・協議会から、患者負担金の対応について等報告 (別紙参照) | | |
| 13 : 8月定例会について | | |
| 8月12日 (金) 12 : 00 ~ 兵庫県庁登録会会場 | | |
| (いつものスケジュールと場所が異なりますのでご注意ください。) | | |

以上

■協議会からのお知らせ

◎患者負担金改定問題

- ・今回の患者負担金値上げ問題で反対の声を上げているのは全国協議会だけ。
- ・いろいろ患者団体があるが、今のところ患者負担金値上げの反対を要望している声、どこからも上がっていない。
- ・日本骨髄バンクは、値上げの意向を示したのは去年の春で10月から実施するという形で発表したが、延期となった。

発表していながら10月になっても何のアナウンスもない、後になって延期をするという。さらに今年5月から実施すると各医療機関に対して書式まで整えてからまた延期。

→協議会はいろいろなところで値上げを阻止のためアプローチ。

骨髄・さい帯血バンク議員連盟が動いてくれた。野田聖子会長のところに日本骨髄バンクの斉藤理事長が値上げを説明に伺う旨伝え、決まってから説明に来るとはどういうことだと厚労省に訴え値上げを差し止めた。

○今後について

全国協議会としては値上げを阻止するために、水面上、水面下の様々な場で活動をしている。今後も値上げを容認できないということに変わりはない。集会をやるとか、署名活動をやるとか具体的なことは決まっていないが、理事会では患者負担金値上げの撤回に向けた活動をしている。日本骨髄バンクとしては、これまで負担してきたものを患者さんに負担してもらうという意味合いで値上げを決定した。

値上げの撤回の要望書を2回提出、さらに質問状を提出した。骨髄・さい帯血バンク議員連盟からもいかななものかという意見があった。

値上げは二度にわたり延期しているが、値上げ撤回ではないので、動きを注視して活動する。

◎ブロックセミナー

- ・検討中。

(検討課題案) 若年層へのドナーリクルート対応と具体的な取り組み

→17年問題。(2017年中に年齢オーバーが2万人)

◎佐藤きち子基金

- ・10月17日給付再開予定。一人上限30万円まで。

◎商工会議所の取り組み状況について

- ・宝塚、滋賀、神戸、姫路、京都、各商工会議所訪問済。(大阪は8月初旬訪問予定。)
- ・来週、京都に会長、理事長が訪問。

■番外編

◎その他：7月2日の週刊現代その後(7/9号の現代では、「やっぱり危ない全身麻酔」)

以下のサイトに『ドナーのためのハンドブック』が出ており、33ページに全身麻酔の説明あり。

http://www.jmdp.or.jp/documents/file/02_donation/handbook20151201.pdf

→「週刊現代が取り上げたのは麻酔医がついてない事例であり、骨髄バンクのドナーからの骨髄液採取は麻酔医が付きっきりで行い、安全に実施。」と説明か。